

2007.1.10 ⇒ 3.4.

ちょっと 昔の道具たち

—元気なこども—



御殿びな

市民歴史大学

1月14日(日)午後1時30分～3時
車崎正彦氏 (早稲田大学シルクロード調査研究所研究員)
「形を読むー前方後円墳とは何かー」

2月11日(日)午後1時30分～3時
泉森 皎氏 (榎原考古学研究所指導研究員)
「古墳の立地と計画性」

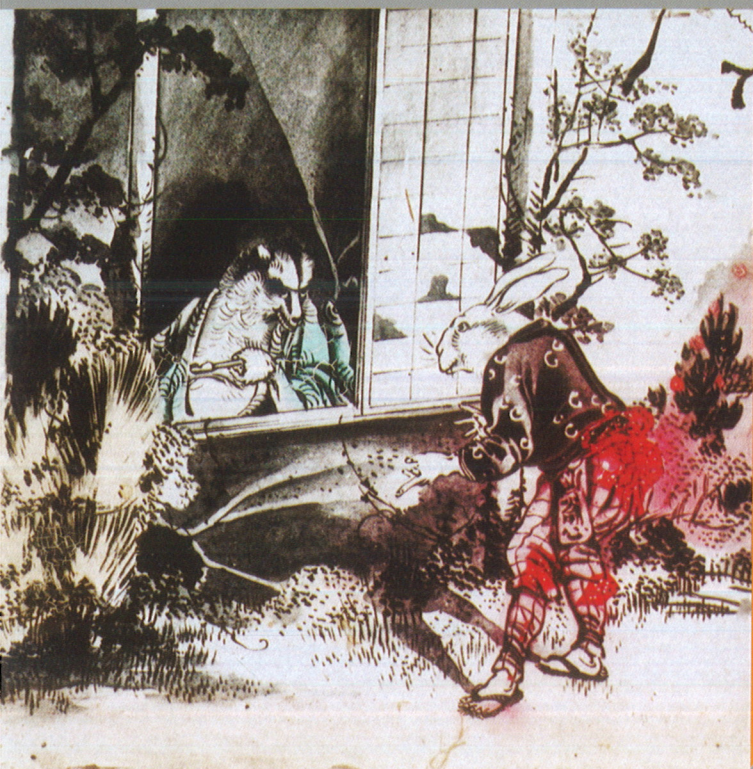
定員90名 参加費無料
申し込み不要

体験教室

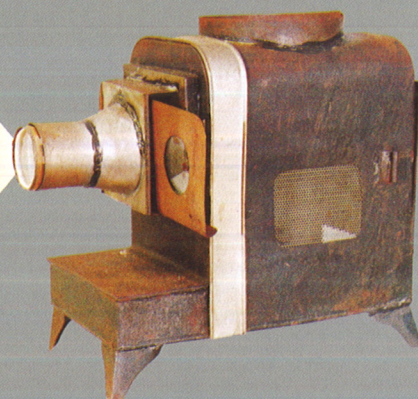
「わらぞうりを作ろう」

2月4日(日)午後1時～4時
定員15名 参加費無料
電話で資料館までお申し込みください

カチカチ山



開館時間 9時30分～16時30分
休館日 月曜日
入館料 無料
交 通 JR 大和路線高井田駅から
徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から
徒歩15分

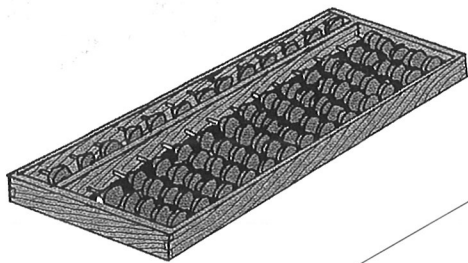


幻燈器

柏原市立歴史資料館

みなさんは、毎日どのようにすごしていますか。^{むかし}昔とちがって、^{せいかつ}生活はと
ても便利^{べんり}になりました。でも、昔のこどもは、外で元気に遊ぶことが多く、
いきいきとしていたように思います。遊ぶだけでなく、勉強もがんばり、家
ではたくさんの仕事^{しごと}が割り^わり当て^あてられていました。テレビもパソコンもない生
活ですが、こどもたちは、毎日を楽しんでいたようです。そんな昔のこども
の生活をのぞいてみましょう。

今から400年ほど前に寺子屋^{てらこや}がつくられるよう
になり、多くのこどもたちが、そこで勉強する
ようになりました。そこでは、「よみ、かき、そ
ろばん^{まな}」を学びました。今の国語^{こくご}と算数^{さんすう}になる
でしょう。でも、勉強したくても、家の仕事^{しごと}が
いそがしかったり、お金がなくてできないこど
ももたくさんいました。そして、100年ほど前か
ら、少しずつ今の学校のようになり、
みんなが学校に行けるよう
になりました。



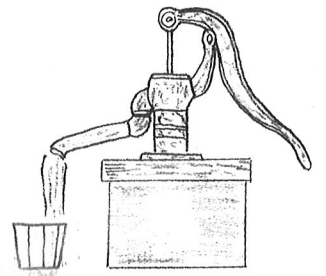
そろばん

まなぶ

はたらく

あそぶ

^{むかし}昔のこどもは、家の
仕事^{しごと}をたくさん手伝^{てつだ}っ
ていました。手伝^{てつだ}うと
いうよりも、それぞれ
の仕事が決められてい



井戸のポンプ

たのです。弟や妹の子守^{こも}りをするのも仕事でし
た。井戸^{いど}から水をくんで、飲み水^{のみ}やふろの水に
使うために運ぶのもこどもの仕事でした。
ふろで使う木^{ようい}を用意したり、火をつけ
たりするのもこどもの仕事でした。
昔のこどもはとてもよく
はたらきました。

女の子は、はねつき、おてだま、おはじき、すごろくなど、
男の子は、こままわし、たこあげ、ビーだま、べったん（め
んこ）、木のぼりなどで遊びました。女の子は家の中で、男
の子は外で遊ぶことが多かったようです。そして、年のは
なれた子もみんないっしょに遊び、^{としうえ}年上のこどもたちから、
いろんなことを学んでいったのです。



おてだま



こままわし